

古事類苑

歲時部二

歲時總載下

時節

〔伊呂波字類抄天世象〕節セツ 〔同疊字〕時節 七十二候 初次末 六十四卦 始中終

〔二中歷〕節氣 廿四氣 節氣 七十二候 初次末 六十四卦 始中終

〔經信卿母集〕琵琶琴上手といふ中にもよのつねの人にはあらざりし、ときの調子のまらべをなしては、やよひの日かすのうちに、夏の。せち。のき。たる。をわ。きま。へう。月の。うち。には。るの。せち。のあ。まれる。をま。りな。つよ。りあ。きに。うつ。り秋よりふゆにかはり、冬より春のたつこと、そのゐんにまぎれず、よるひるの時のうつるをも、たれこめても、かいひきては、さだかにおもひえたり○下略

四時

〔伊呂波字類抄天志象〕四時 春日蒼天 夏日昊天 秋日旻天 冬日上天 〔同疊志〕四季 四節

〔釋名釋一〕天四時四方各一時、時期也、物之生死各應節期而止也、

〔和漢名數節序〕四時 春木 夏火 秋金 冬水

〔書言字考節用集〕時二候二四シキ時四序四節並同、說文四季季末也、土用所言本朝俗

〔古今和歌集序〕いますべらぎのあめのしたまろしめす事よつのときこのかへりになんなりぬる

〔東雅天一〕春ハル 夏ナツ 秋アキ 冬フユ 並に義不詳、四時の名は古の時に見えし事は舊

事紀古事記日本紀等に、陰陽の二神大倭豊秋津洲を生給ふ、亦名は天御虚空豊秋津根別といふ